

# 積丹町地域公共交通計画

(令和5年度～令和9年度)

積丹町では路線バスである積丹線のうち美国～余別間の廃止が決定しており、町内の移動手段の確保が喫緊の解決すべき問題となっています。このような背景のもと、路線バス、診療所・温泉送迎バス、ハイヤーなどの既存の移動手段の維持に加え、公共交通の不便な地域に対する新たな交通手段導入を含めた総合的な公共交通体系のあり方を検討してきました。

検討結果を踏まえて、国等からの支援制度を活用しながらも持続可能で地域住民や観光客等から利用され続ける公共交通体系の構築を目的に「積丹町地域公共交通計画」を策定します。

## ■基本方針 持続可能な公共交通体系の構築による地域住民・観光客の効率的な移動支援

## ■計画の区域

積丹町全域

既存輸送資源を最大限活用することによる輸送の効率化、新たな公共交通の導入や広域交通との連携により、国等からの支援制度を活用して、持続可能な地域の輸送手段を確保します。また、積丹町では観光需要が高く、現状においても公共交通によって来訪される方が多いことから、積丹線が短絡化した場合にも観光客の受け入れ態勢の質の低下を防ぎ、さらなる機能強化を図る必要があります。そのため、住民の足の確保のみならず、積丹町の資源を活かして観光客の需要にも対応した公共交通体系の構築により、地域活性化にも寄与する効果的な移動支援を実現します。

